

令和2年度 学校経営方針

墨田区立錦糸中学校

校長 和田 浩二

I 教育目標

人権尊重の精神を基調として、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の教育目標を掲げる。

○基礎学力を身に付け、自ら考える生徒を育てる。【知】

○情操を豊かにし、他を思いやる生徒を育てる。【徳】

○心身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒を育てる。【体】

II 錦糸中学校が目指すもの

1 目指す生徒像 ～教育目標の具現化～

「未来への夢や希望をもち、こころざし高く、歩み続ける生徒」

(1) 基礎学力を身に付け、自ら考える生徒

- ・授業に真剣に取り組む生徒
- ・じっくり考え正しく判断できる生徒
- ・課題解決に積極的な探究心のある生徒

(2) 情操を豊かにし、他を思いやる生徒

- ・自分の良さを大切にする生徒
- ・命を大切にする優しい心をもつ生徒
- ・母校や社会の発展のために協力できる生徒

(3) 身を鍛え、根気強く成し遂げる生徒

- ・心と体を健康に保つ活力のある生徒
- ・目標に向かって挑戦し続ける生徒
- ・責任感と社会性を身に付けた生徒

2 目指す学校像

「伝統ある名門校としての誇りと進取の気風に満ちた品格のある学校」

(1) わかる喜びとできる楽しさを実感できる学校

- ・教えるべきことは徹底して教える学校
- ・創意工夫ある教育活動を推進する学校
- ・実生活で活用できる学力を身に付けさせる学校

(2) 生徒と保護者と教職員が信頼関係で結ばれた

- ・一期一会を大切に作る人情味あふれる学校
- ・厳しさの中にも優しさのある学校
- ・いじめのない安心して通える学校

(3) 地域とともに歩み地域が誇れる学校

- ・地域に開かれた明るく元気な学校
- ・地域の教育資源を積極的に取り入れる学校
- ・錦糸中学校で学んだ喜びを一生涯誇れる学校

3 目指す教師像

「明るく元気でハートがあって夢を語れる錦糸中の教師」

(1) 教科指導はもちろん、直面する教育課題にも対応できる高い専門性のある教師

(2) 錦糸中学校の教師である誇りと品格をもち、組織的に協働する教師

(3) 教育公務員としての職責を自覚し、法令や規則、服務規律を厳正に遵守する教師

III 取組目標

	取組の視点	取組指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	<p>【学力向上の学校づくり】</p> <p>①ICT 機器を効果的に活用して生徒の興味関心を高める授業を行う。</p> <p>②新学習指導要領や高校・大学の入試改革を意識して授業を改善する。</p> <p>③「家庭学習ノート」や宿題の日常化を継続し、錦中コンテストの充実等により家庭学習を習慣化して基礎・基本の定着を図る。</p> <p>④卒業までに漢検、英検のいずれかで3級を取得できるよう奨励する。</p>
	特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等	<p>①スクールカウンセラー、教育相談担当者及び特別支援教育コーディネーターが情報交換を密に行い、支援が必要な生徒を把握する。</p> <p>②外国につながるのある生徒が20%（平成30年度）在籍する実態を踏まえ、学校全体で支援を行い進路保障に努める。</p>
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動	<p>①マイキャリアノートを活用し、職場体験と錦中ハローワークを軸とした、キャリア教育に関する「錦中スタンダード」に従い、3年間を見通したカリキュラムマネジメントを構築する。</p> <p>②上級学校や実社会で活躍する地域の大人と触れ合うことで多様な体験等「生きる力」の育成につなげる。</p>
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組	<p>①新学習指導要領に対応した授業力の向上を目指すために、ICT機器とブルームの「改訂版タキノミー」を用いて授業改善に取り組む。</p> <p>②授業の相互参観期間を設け、全教員が新学習指導要領の趣旨を踏まえた研究授業を実施する。</p>

生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等	<p>【生徒と教師の信頼関係構築】</p> <p>①人権教育の推進を通じていじめの防止に取り組む。</p> <p>②生活指導に関する教員の共通理解と共通実践を進める。</p> <p>③「SNS 錦中ルール」等、生活指導のルールの周知・徹底を図る。</p> <p>④体罰、暴言、不適切な指導を一掃する。</p>
	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等	<p>①時間、挨拶、言葉づかいなど、基本的な生活習慣の確立に向けた指導を充実する。服装については教員自らが範を示す。</p> <p>②生徒会活動(委員会活動を含む)では、生徒の自主的・自律的な態度形成を促し、自尊感情・自己肯定感をはぐくむ機会となるよう、教員がサポートする。</p> <p>③学年・学級経営の充実のために i-check を継続的に活用する。</p>
	安全を確保するための取組等	<p>①災害発生時に対応できる実践的な避難訓練を実施し、防災意識を高める。</p> <p>②第1学年を対象とした救急救命講習を実施し、生徒に地域の一員としての自覚をもたせる。</p>
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	<p>【教育計画のさらなる充実】</p> <p>①校長と副校長、副校長と必置主任及び学年主任の報告・連絡・相談を密にして教育課程を適切に実施する。</p> <p>②年度当初の学年経営方針に基づき、見通しをもって教育活動を進めるとともに、自己申告の面接を通じ、教職員の担当する分掌の到達目標を学校経営方針に即して設定する。</p> <p>③国、都、区のガイドライン等を厳守しつつ、部活動の活性化により学校の魅力を発信する。</p>
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	<p>【保護者・地域から信頼される学校づくり】</p> <p>①生徒による授業評価を実施し、子供の実態をしっかりと見つけ、学校改善に生かす。</p> <p>②学校運営連絡協議会や保護者からの評価を、教育課程の改善や学年経営方針の策定に生かす。</p>

学校の管理運営	教育環境・設備等の整備状況等	<p>①施設・設備の安全点検や、薬品庫、刃物等の確認など、教職員の危機管理意識を高める。</p> <p>②限られた予算の中で最大限の教育効果を発揮できるよう、教育環境、設備等を充実させる。</p>
	学校事務の共同化	<p>①墨田区初の拠点校として、錦糸小、中和小、柳島小、業平小、菊川小、堅川中、錦糸中の教職員と信頼関係を構築する中で、事業が正しく理解されるよう努める。</p> <p>②事務職員間のOJTを推進し、意欲と専門性を向上するために、庶務及び経理の業務分担制を確立する。</p> <p>③組織的な職務遂行を通じて、学校事務の正確性と効率化を推進し、墨田区における事務処理の標準化を模索する。</p>
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	<p>①学校だよりや学年通信を通じて、教育方針や教育活動を発信する。</p> <p>②学校ホームページを通じた情報提供を充実する。</p>
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	<p>①学校支援ネットワーク事業を活用し、錦糸中学校の教育活動に地域の教育力（ゲストティーチャー等）を導入することで、教育内容の充実・向上を図る。</p> <p>②教職員がPTA活動や青少年育成委員会の活動に積極的に参加し、保護者・地域からの信頼を獲得し、地元にも根ざした学校を構築する。</p> <p>③サービスの厳正を図る。サービス事故は教員本人だけでなく学校の信用を失墜させる行為であることを肝に銘じるとともに、出張、休暇、職免等の処理を適正化する。</p>